

**令和7年度浜松市内女性就労実態調査
調査結果報告書（概要版）**

**令和8年2月
浜松市産業部労働政策課**

調査の概要

1. 調査の目的

本市における女性の就労の実態や意識、課題等を把握するとともに、新たに検討すべき課題の有無を明らかにし、今後の女性就労支援施策の検討に活用することを目的として、本調査を実施した。

2. 調査の方法

・調査対象者

- ①住民基本台帳から無作為抽出した満20歳～59歳の女性市民3,500人
- ②ハローワーク浜松に来館した女性市民 500人

・調査方法

- ①調査案内を郵送し、インターネットのWEBページにて回答を得た。
- ②ハローワーク来館者は、窓口において口頭で市内在住の確認と調査協力の依頼後、調査案内を渡し、インターネットのWEBページにて回答を得た。

・調査期間

郵送依頼は令和7年7月25日～令和7年8月15日、ハローワーク依頼は令和7年7月15日～令和7年8月15日

・調査回収率

- ①浜松市市民郵送調査依頼：依頼数3,500→回答者1,245（回収率:35.6%）有効:1,243(35.5%) 無効: 2
 - ②ハローワーク来館者依頼：依頼数 500→回答者 97（回収率:19.4%）有効: 79(15.8%) 無効:17
- ※無効の内訳：郵送調査依頼（60歳以上:2）ハローワーク来館者（60歳以上:17 郵送との重複：1）

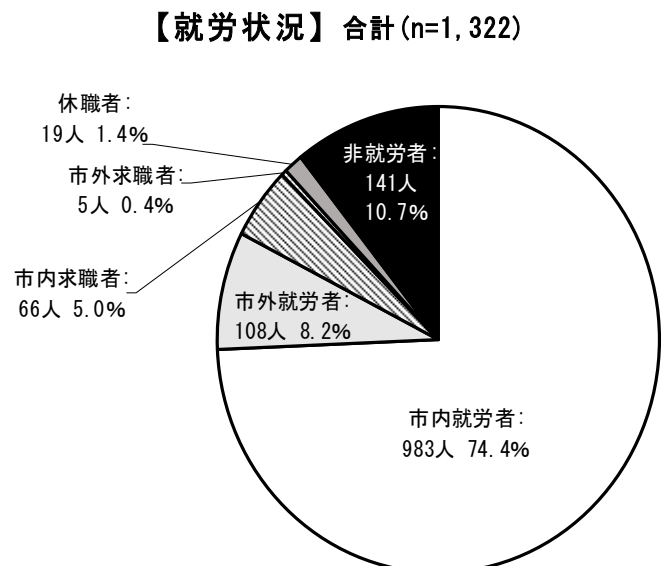
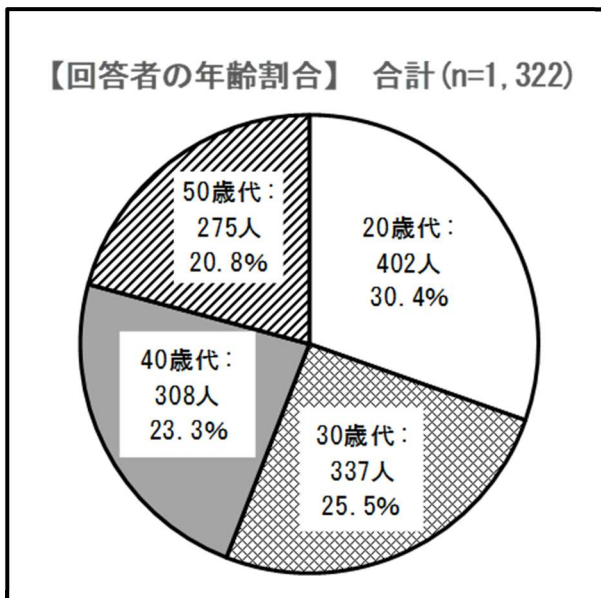
3. 概要版について

本調査におけるすべての調査結果や考察、各ヒアリング内容、今後のUIJ ターン就職促進策の提案などは完全版に掲載しており、本概要版については、主な調査結果を簡潔に報告することを目的としている。

調査の結果

1. 調査対象者のプロフィール

1) 回答者属性



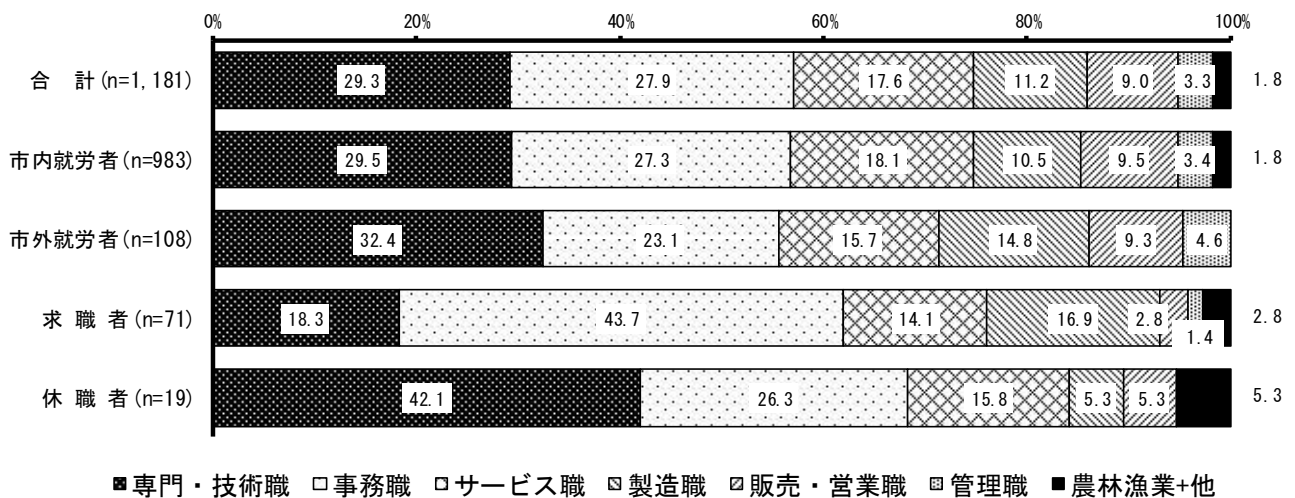
2. 担当（希望）業務について

- 『求職者』は、事務職と製造職の希望が高い一方で、専門職・技術職の希望が低い。さらに専門・技術職は年代が高くなるにつれ、希望が低くなる傾向にある。
- 求職者は「短時間パート」を希望していることが多く、また、小学生以上の子どもがいる場合も、「短時間パート」で勤務・勤務希望していることが多い。

1) 担当（希望）の職種

・『就労者』と『求職者』を比較すると、「事務職」（市内就労者27.3%、市外就労者23.1%、求職者43.7%）と「製造職」（市内就労者10.5%、市外就労者14.8%、求職者16.9%）で『求職者』の希望が高く、「専門・技術職」（市内就労者29.5%、市外就労者32.4%、求職者18.3%）では低くなっている。

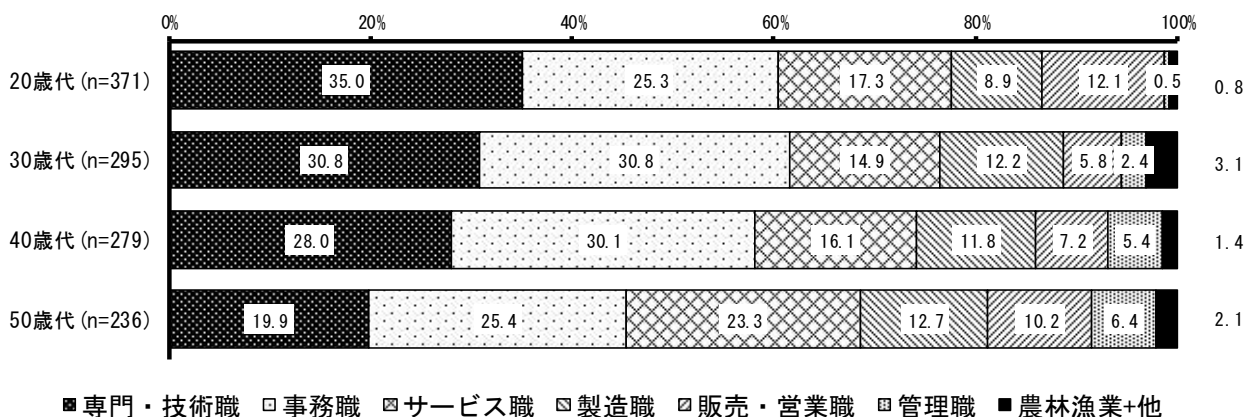
【担当（希望）の職種 合計・就労状況別】



注）農林漁業、その他、無回答は数値が低いので合算値で表記

・年代別にみると「専門・技術職」は年代が低くなるにつれて割合が大きくなっている。「サービス職」は『50歳代』（23.3%）は他の年代層に比べ6ポイント以上高くなっている。

【年代別】

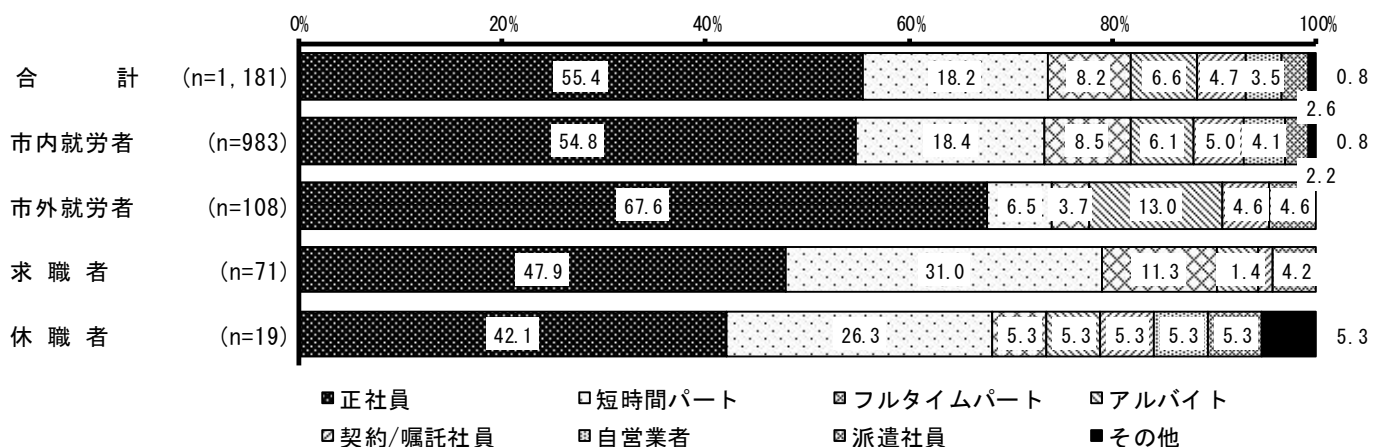


注）農林漁業、その他、無回答は数値が低いので合算値で表記

2) 雇用（希望）の形態

- 希望雇用形態別にみると、『求職者』では「短時間パート」が31.0%と多くなっている。

【雇用（希望）の形態 合計・就労状況別】



- 同居家族構成別にみると、『(一番下の子どもが) 小学生以上』の場合、「短時間パート」の割合が高い。
- 子どもと同居している世帯では、正社員が42.9%、子どもと同居していない世帯では、正社員が67.3%と、24.4ポイント差となっている。また、一番下の子どもが「未就学児」の世帯と比較し、「小学生」「中学生以上」の世帯は正社員の割合が低くなっている。

【同居家族構成別】

		回答数 (n=)	正社員	短時間パート	フルタイムパート	アルバイト	契約/嘱託社員	自営業者	派遣社員	その他	無回答	
子ありの計 ※一番下の子で分類		578	42.9%	29.6%	10.0%	5.2%	4.3%	4.5%	2.2%	1.2%	0.0%	
未就学児	配偶者あり	親族等同居者有	16	62.5%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		配偶者・子のみ	184	58.7%	23.4%	3.8%	3.3%	4.3%	4.3%	2.2%	0.0%	0.0%
	配偶者なし	親族等同居者有	7	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		子のみ	8	50.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
小学生	配偶者あり	親族等同居者有	17	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		配偶者・子のみ	92	29.3%	38.0%	8.7%	8.7%	5.4%	4.3%	1.1%	4.3%	0.0%
	配偶者なし	親族等同居者有	5	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		子のみ	13	46.2%	38.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
中学生以上	配偶者あり	親族等同居者有	44	25.0%	38.6%	15.9%	6.8%	6.8%	4.5%	0.0%	2.3%	0.0%
		配偶者・子のみ	137	27.7%	40.1%	12.4%	7.3%	4.4%	5.8%	2.2%	0.0%	0.0%
	配偶者なし	親族等同居者有	16	62.5%	12.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
		子のみ	39	53.8%	5.1%	15.4%	2.6%	7.7%	5.1%	5.1%	5.1%	0.0%
子なしの計		603	67.3%	7.3%	6.5%	8.0%	5.1%	2.5%	3.0%	0.3%	0.0%	
子なし	配偶者あり	親族等同居者有	21	33.3%	19.0%	9.5%	4.8%	14.3%	9.5%	9.5%	0.0%	0.0%
		配偶者のみ	184	64.1%	14.1%	7.6%	3.3%	6.0%	1.6%	2.7%	0.5%	0.0%
	配偶者なし	親族等同居者有	288	69.4%	3.8%	7.3%	9.0%	5.2%	1.7%	3.1%	0.3%	0.0%
		1人暮らし	110	73.6%	2.7%	1.8%	13.6%	1.8%	4.5%	1.8%	0.0%	0.0%

3. 勤務環境の評価

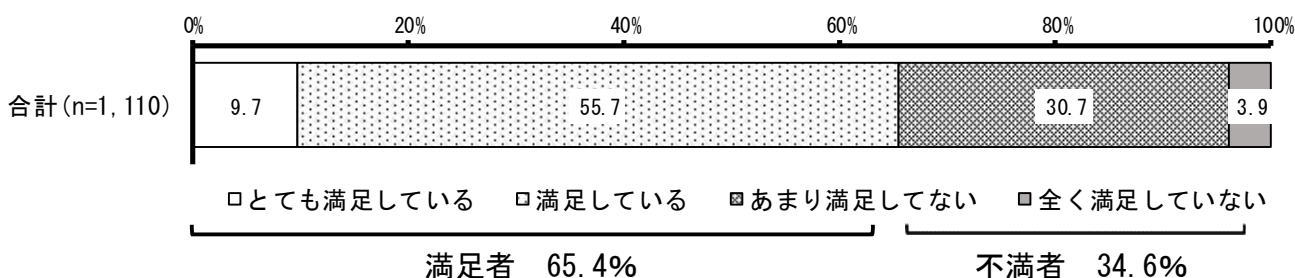
●6割以上の市内女性が仕事に満足しており、労働環境や仕事内容が評価の理由となっている。一方で、給与は不満を抱える大きな理由となっている。

●仕事に不満を持っている3割の方が1年以内に就労環境の変更を検討している。仕事に満足している場合も、「出産・子育て」が就労環境を変更する理由となっている。

1) 勤務環境の満足度

・就業者の仕事への満足度は、「とても満足している」(9.7%)と「満足している」(55.7%)を合わせた『満足者』の割合は65.4%、「あまり満足していない」(30.7%)と「全く満足していない」(3.9%)を合わせた『不満者』割合は34.6%となっている。

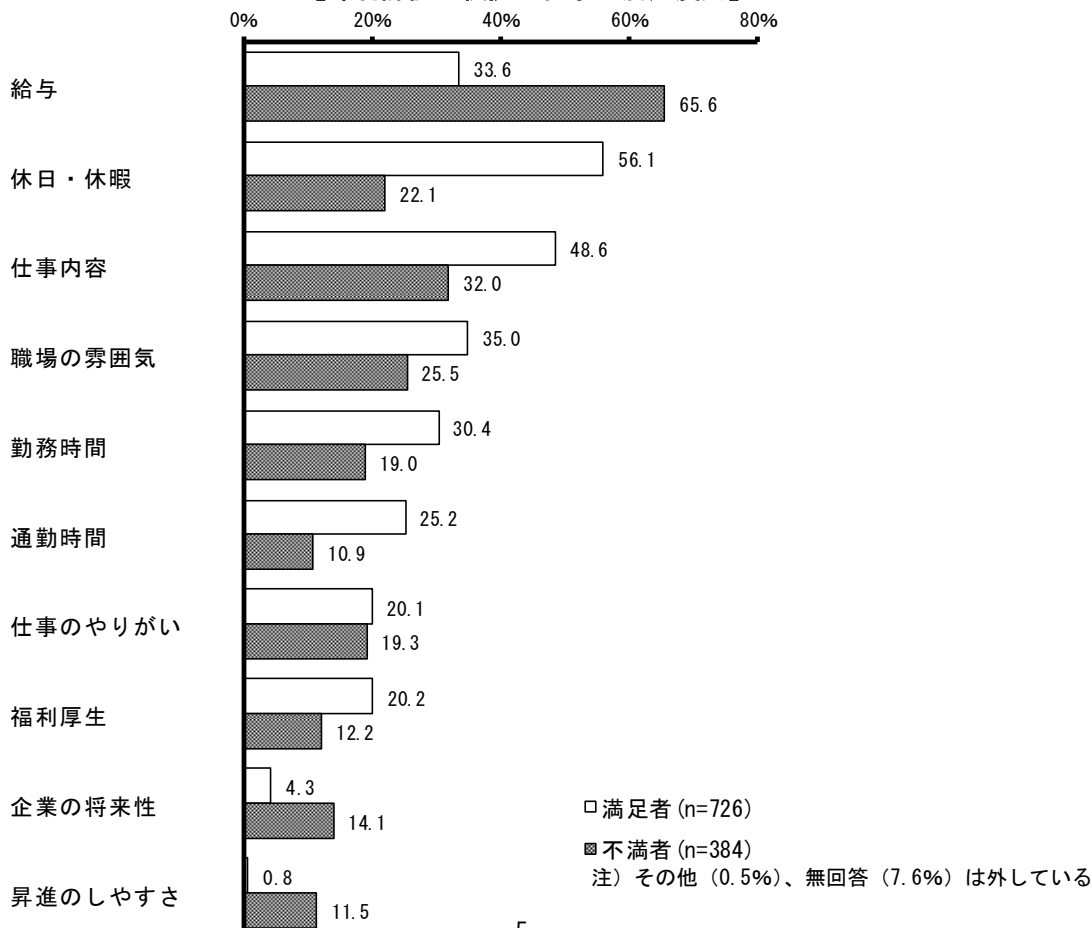
【現状の仕事への満足度】



2) 勤務環境評価の根拠

・満足者』と『不満者』の層別にみると、『満足者』は「休日・休暇の取得しやすさ」(56.1%)、「仕事内容」(48.6%)、「職場の雰囲気」(35.0%)、「勤務時間」(30.4%)、「通勤時間」(25.2%)が『不満者』より10ポイント以上高くなっている。『不満者』は「給与」と「昇進のしやすさ」が『満足者』より10ポイント以上高くなっている。

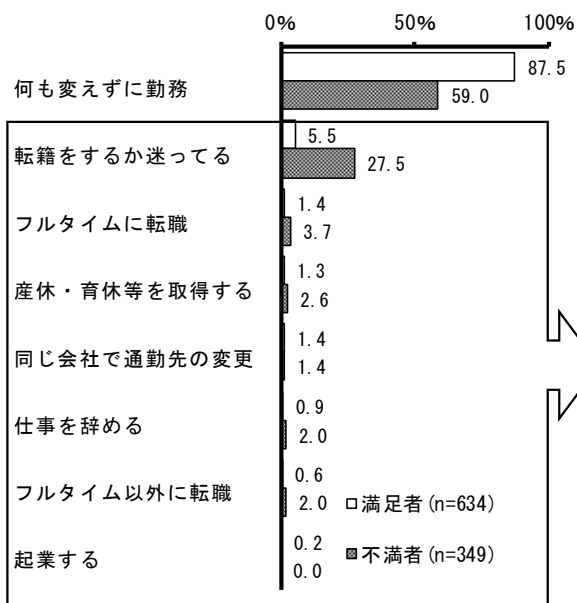
【環境評価の根拠 仕事の満足度別】



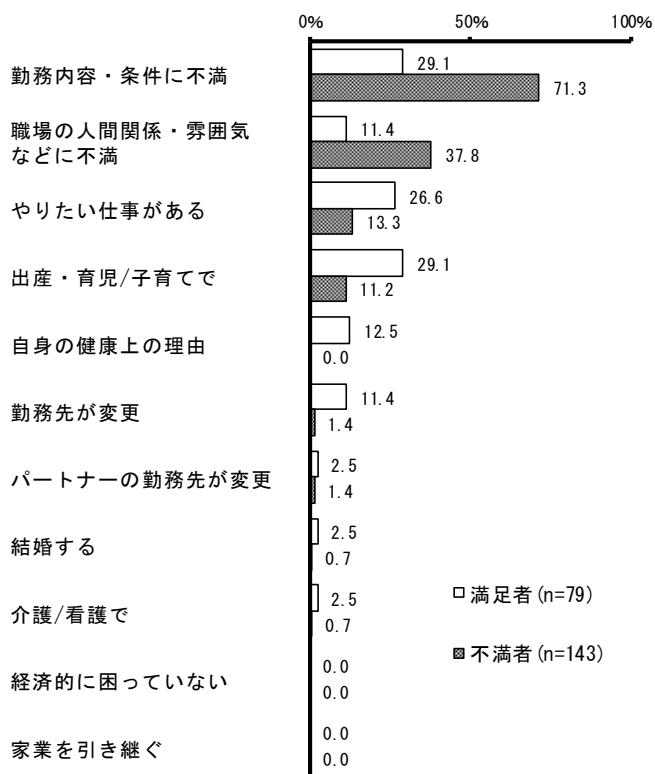
3) 今後、1年以内の就労予定と1年以内に就労環境を変更する理由

- ・今後、1年以内の就労予定は、「何も変えずに勤務」が『満足者』は87.5%で『不満者』は59.0%といずれも高くなっている。『不満者』は「転職をするか迷ってる」が27.5%であった。
- ・就労環境を変更する理由で『満足者』の理由で最も高いのは「勤務内容・条件に不満」と「出産・育児/子育てで」がいずれも29.1%であった。

【今後、1年以内の就労予定仕事の満足度別】



【1年以内に就労環境を変更する理由仕事の満足度別】



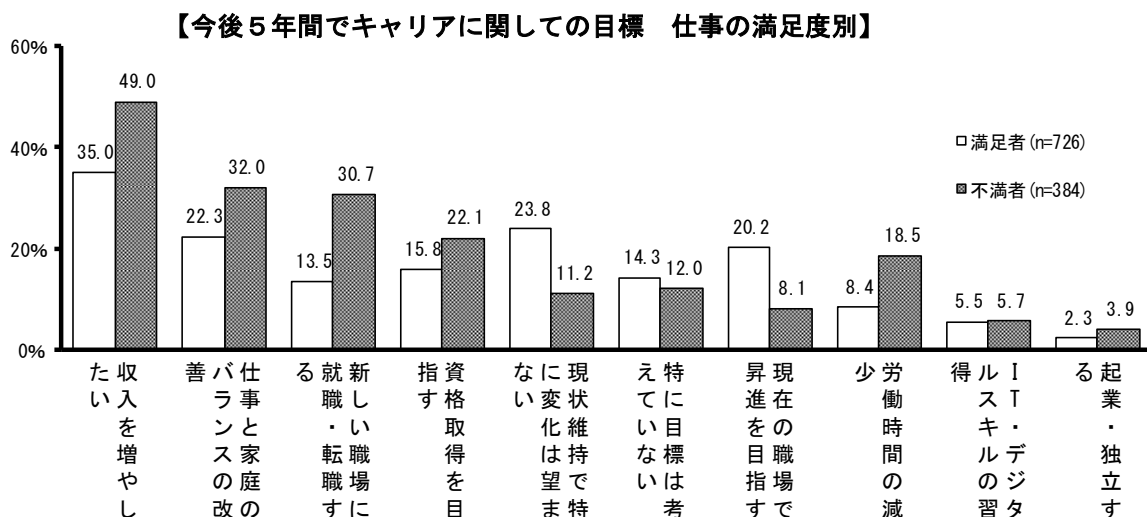
4. 今後の就労意識

●フルタイムで働き続けることを希望する場合は「収入を増やすこと」、産休・育休の取得を検討している場合は「仕事と家庭のバランスの改善」を目標と設定している方が多い。

1) 今後5年間でキャリアに関する目標

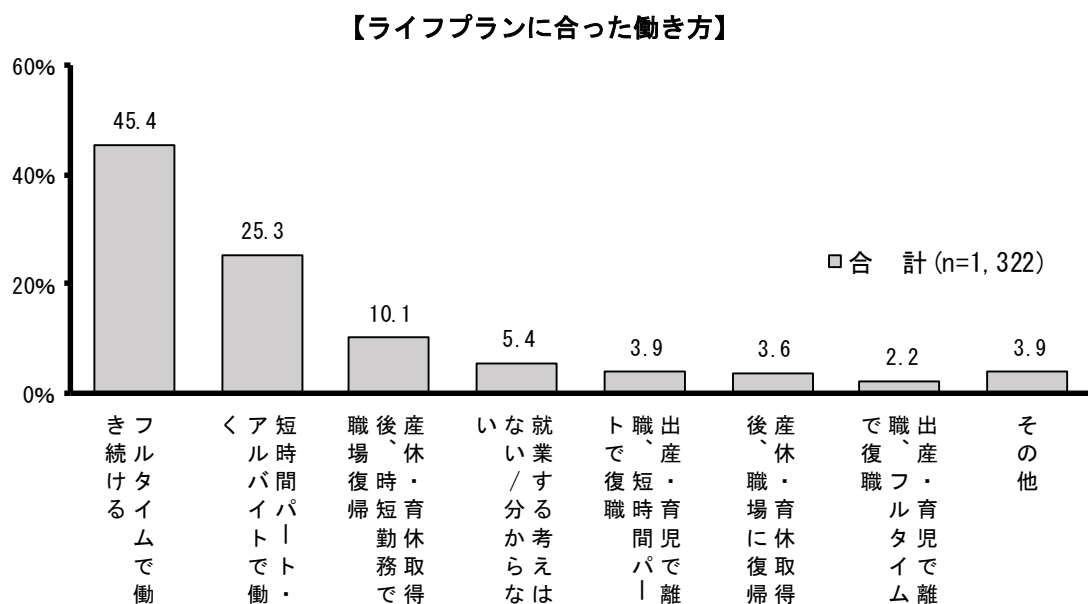
・『不満者』は「収入を増やしたい」(49.0%)、「仕事と家庭バランスの改善」(32.0%)、「新しい職場に就職・転職する」(30.7%)の順で高くなっている。

・『満足者』は「収入を増やしたい」(35.0%)、「特に変化は望まない」(23.8%)、「仕事と家庭バランスの改善」(22.3%)、「現在の職場で昇進を目指す」(20.2%)の順で高くなっている。



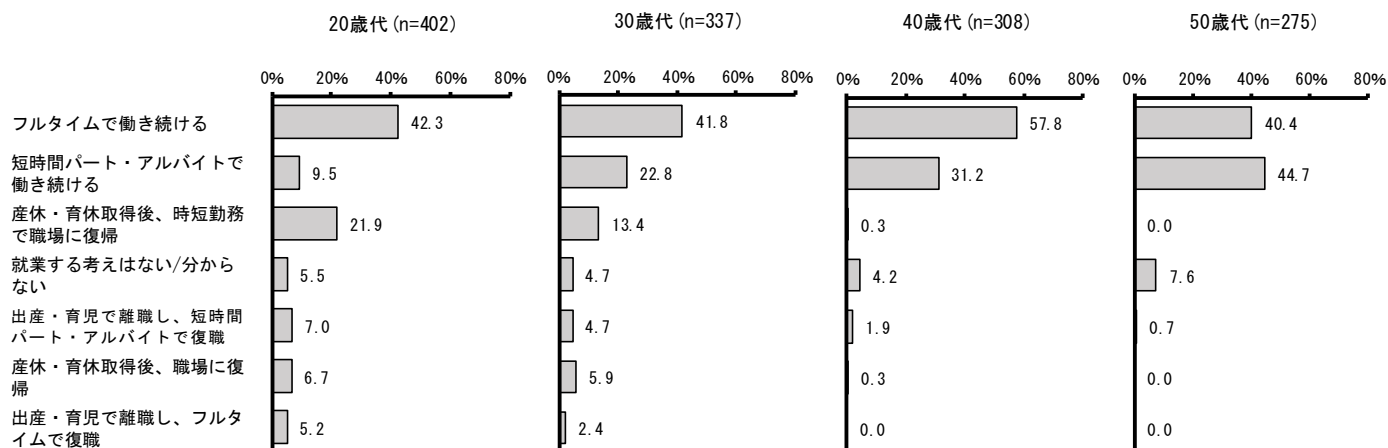
2) ライフプランに合った働き方

・ライフプランに合った働き方は「フルタイムで働き続ける」が45.4%と最も多い。次いで、「短時間パート・アルバイトで働く」が25.3%となっている。



- ・年代別にみると、各年代で「フルタイムで働き続ける」は40%以上と多く、とりわけ『40歳代』は57.8%と半数を超えている。「短時間パート・アルバイトで働く」は『20歳代』(9.5%)から『50歳代』(44.7%)へと年代が高くなるにつれ、多くなる傾向がみられる。

【年代別】



- ・今後のライフプラン「仕事と家庭のバランスの改善」では『産休・育休取得後、時短勤務で職場に復帰する』(44.8%)と『産休・育休取得後、職場に復帰する』(43.8%)の産休・育休取得者は40%台と高くなっている。「収入を増やしたい」と回答している40%台の高い層は、『フルタイムで働き続ける』(40.0%)、『産休・育休取得後、職場に復帰する』(41.7%)、『出産・育児で離職し、フルタイムで復職』(44.8%)である。

【ライフプラン別】

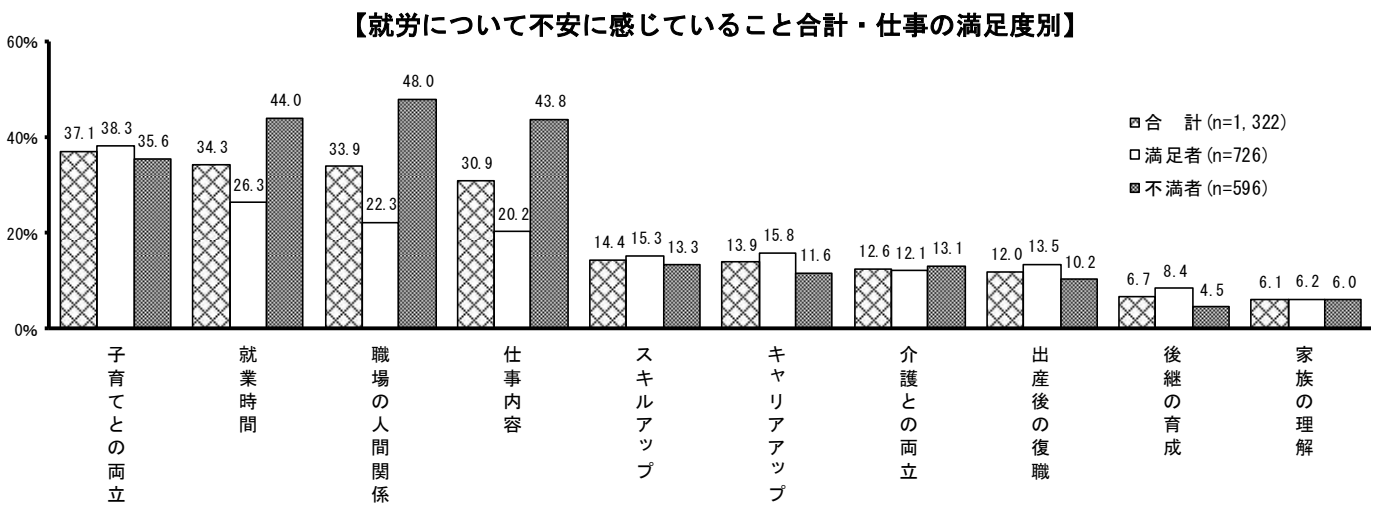
	回答数	ラ仕事と家庭改善バ	た収入を増やし
合計	1,322	26.3%	38.4%
フルタイムで働き続ける	600	21.5%	40.0%
短時間パート・アルバイトで働き続ける	334	25.7%	36.5%
産休・育休取得後、時短勤務で職場に復帰する	134	44.8%	36.6%
産休・育休取得後、職場に復帰する	48	43.8%	41.7%
出産・育児で離職し、フルタイムで復職	29	31.0%	44.8%
出産・育児で離職し、短時間パート・アルバイトで復職	52	36.5%	30.8%
就業する考えはない/分からない	72	12.5%	34.7%

5. 就労への不安と支援について

- 20-30代は「子育てとの両立」や「出産後の復職」に対して不安を感じており、子育て環境が女性の働きにくさの要因として感じられている。
- 求職者・非就労者は「就業時間」「職場の人間関係」「仕事内容」に不安を感じている。
- 女性への就労支援は「子どもが未就学の時」が必要だと感じている人が多い。子どもがいる場合、子どもが未就学もしくは小・中学校に就学した際に必要だと感じている。

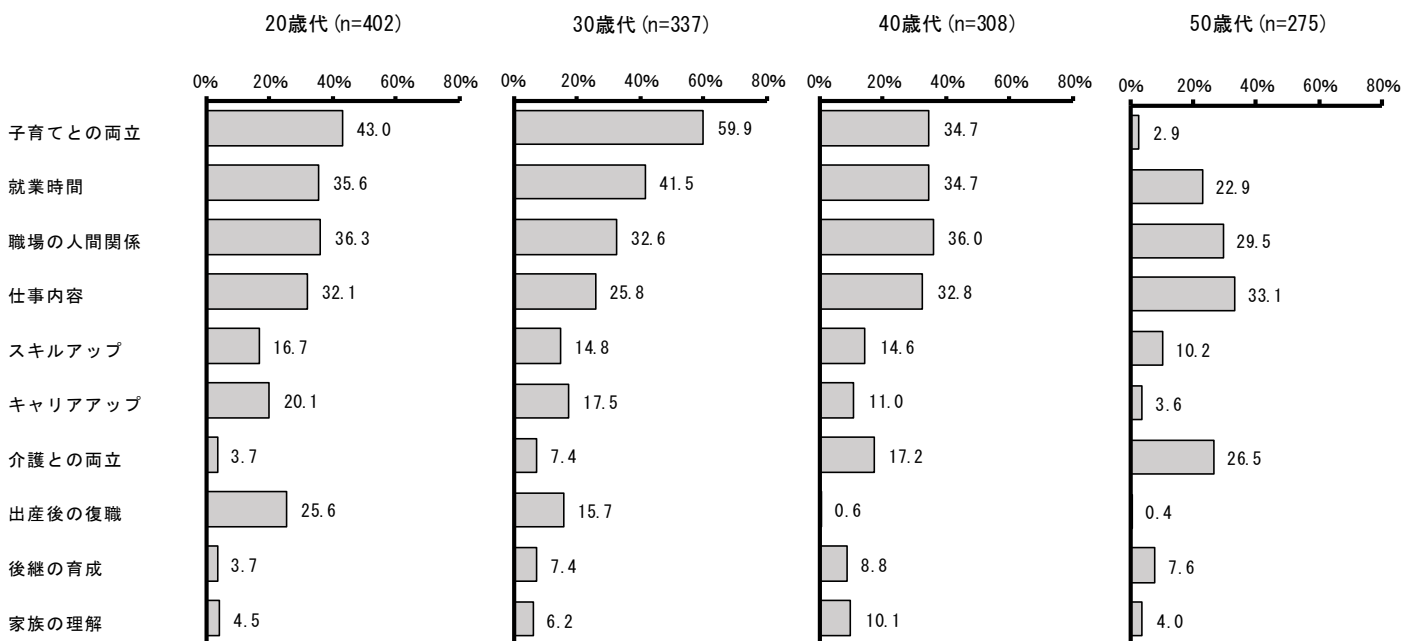
1) 就労について不安を感じていること

- ・就労について不安を感じていることは「子育てとの両立」(37.1%)、「就業時間」(34.3%)、「職場の人間関係」(33.9%)、「仕事内容」(30.9%)が30%台と多い



- ・年代別にみると、「子育て」は『20歳代』(43.0%)と『30歳代』(59.9%)は高く、『40歳代』(34.7%)と『50歳代』(2.9%)は低く年代の低い層に傾斜した傾向がみられる。この傾向は「出産後の復職」でも見られる。

【年代別】



- ・評価別の就労不安を見ると、浜松市が女性には『やや働きにくい』『働きにくい』と感じている方の40%以上が「子育てとの両立」に不安を感じている

【浜松の労働環境評価別】

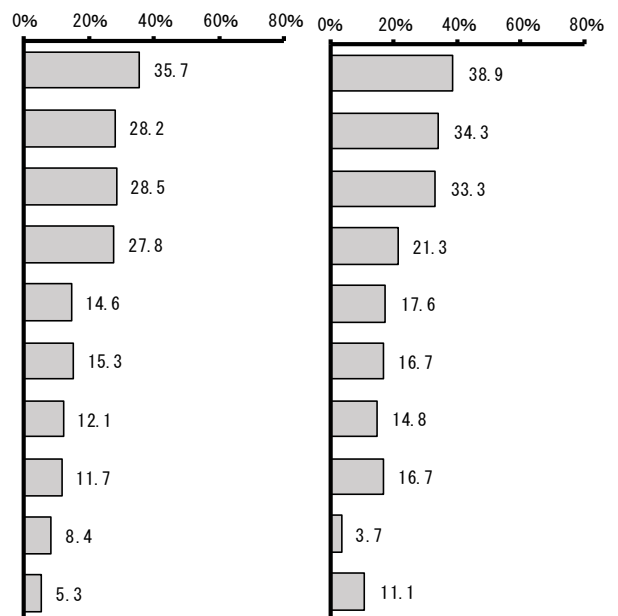
		回答数	の子 両育 立て と	就 業 時 間	人 職 場 関 係	仕 事 内 容	ツ ス ブ キ ル ア	ア キ ツ ヤ ブ リ ア	両 介 立 護 と の	復 出 職 産 後 の	成 後 継 の 育	解 家 族 の 理
調査回答者合計		1,322	37.1%	34.3%	33.9%	30.9%	14.4%	13.9%	12.6%	12.0%	6.7%	6.1%
浜松の 労働環境 評価	女性に働きやすい	57	14.0%	29.8%	29.8%	21.1%	14.0%	14.0%	12.3%	7.0%	5.3%	1.8%
	まあ、働きやすい	841	34.6%	33.3%	33.9%	30.1%	13.6%	11.2%	13.4%	10.9%	6.4%	5.1%
	やや、働きにくい	302	42.4%	38.1%	36.1%	34.8%	15.6%	19.9%	12.3%	14.6%	7.9%	7.9%
	女性に働きにくい	122	51.6%	33.6%	30.3%	31.1%	17.2%	18.0%	7.4%	15.6%	5.7%	10.7%

【就労状況別】

- ・就労状況別にみると、『求職者』は「就業時間」(63.4%)「職場の人間関係」(73.2%)「仕事内容」(54.9%)の項目が過半数以上で不安と感じている。『非就労者』も同様の項目で不安感を感じている方が多い。

市内就労者 (n=983)

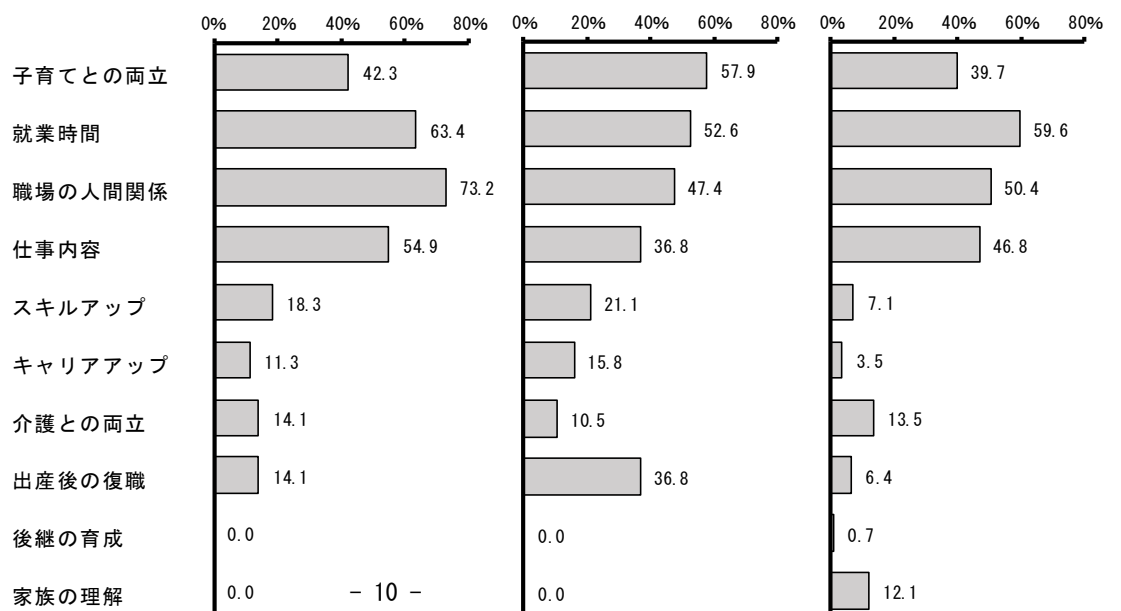
市外就労者 (n=108)



求職者 (n=71)

休職者 (n=19)

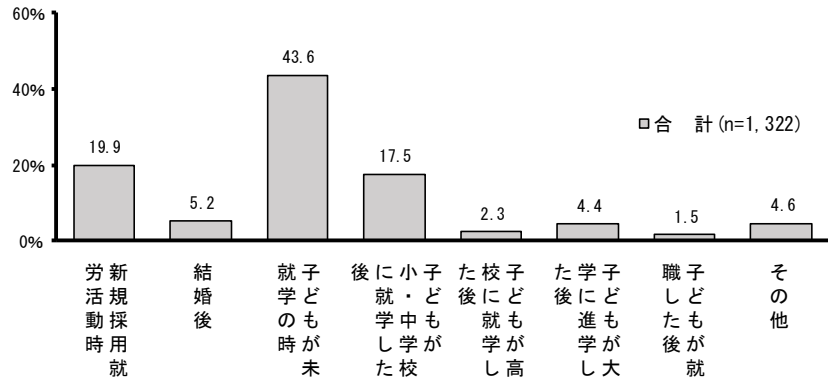
非就労者 (n=141)



4) 就労支援が最も必要だと感じるタイミング

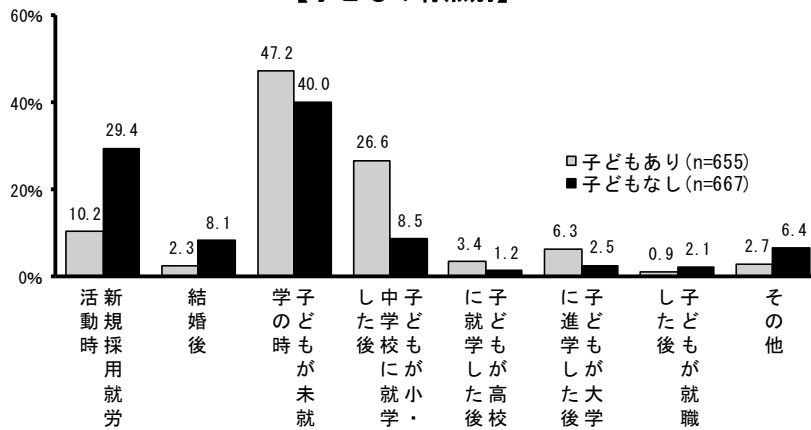
【就労支援が最も必要だと感じるタイミング】

- 就労支援が最も必要だと感じるタイミングは「子どもが未就学の時」が43.6%で最も高い。続いて、「新規採用就労活動時」(19.9%)、「子どもが小・中学校に就学した後」(17.5%)となっている。



- 子どもの有無別にみると、「子どもが未就学の時」は『子どもあり』と『子どもなし』どちらも最も高いが、その他の項目では希望する就労支援のタイミングが異なり、『子どもあり』では『子どもが小・中学校に就学した後』が、『子どもなし』では「新規採用就労活動時」が次点で高くなっている。

【子どもの有無別】



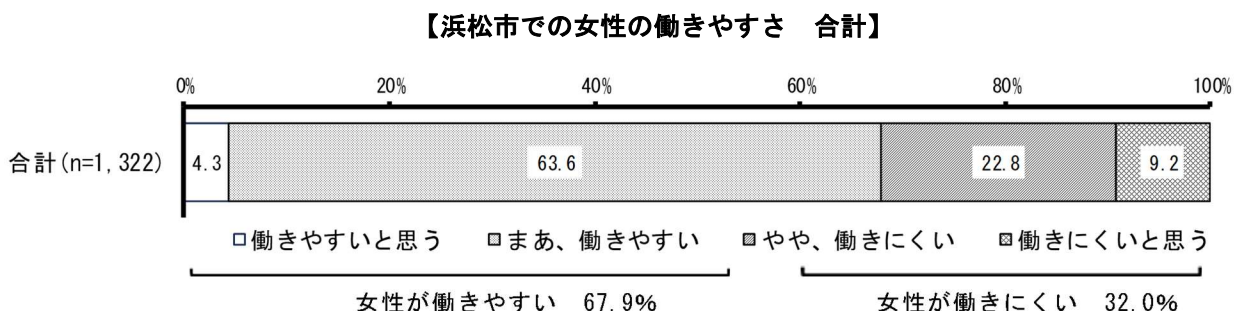
6. 浜松市の女性就労環境の評価と要望など

●市内女性の6割以上が、浜松市は女性が働きやすいと感じている。業種の多様性や雇用機会の多さ、住環境などは働きやすさの要因となっている一方で、出産・育児・子育てが働きにくさの要因となっている。

●7割以上の女性が、女性活躍のために「柔軟な働き方制度」「子育て支援の充実」が重要であると感じている。

1) 浜松市での女性の働きやすさ

・浜松市での女性の働きやすさの評価は、「働きやすいと思う」(4.3%)と「まあ、働きやすい」(63.6%)を合わせた『女性が働きやすい』の割合は67.9%。「やや、働きにくい」(22.8%)と「働きにくいと思う」(9.2%)を合わせた『女性が働きにくい』の割合は32.0%となっている。

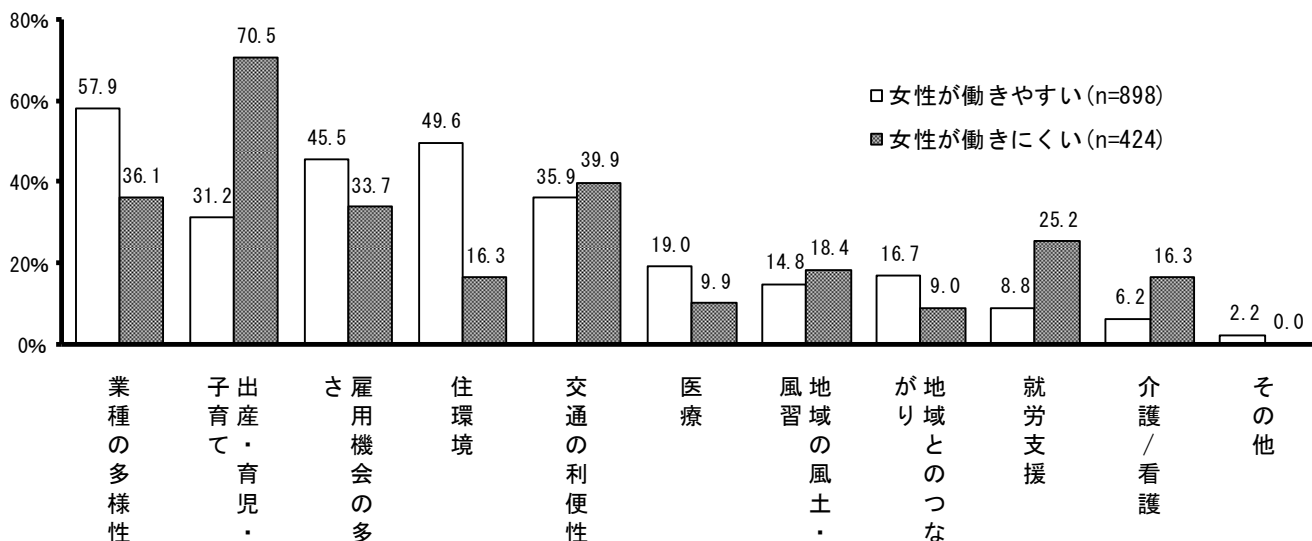


2) 浜松市での女性の働きやすさ評価の根拠

・『女性が働きやすい』と評価した根拠は「業種の多様性」(57.9%)、「住環境」(49.6%)、「雇用機会の多さ」(45.5%)、「医療」(19.0%)が『女性が働きにくい』に比べ9ポイント以上高くなっている。

『女性が働きにくい』と評価した根拠は「出産・育児・子育て」(70.5%)、「就労支援」(25.2%)、「介護/看護」(16.3%)となっている。

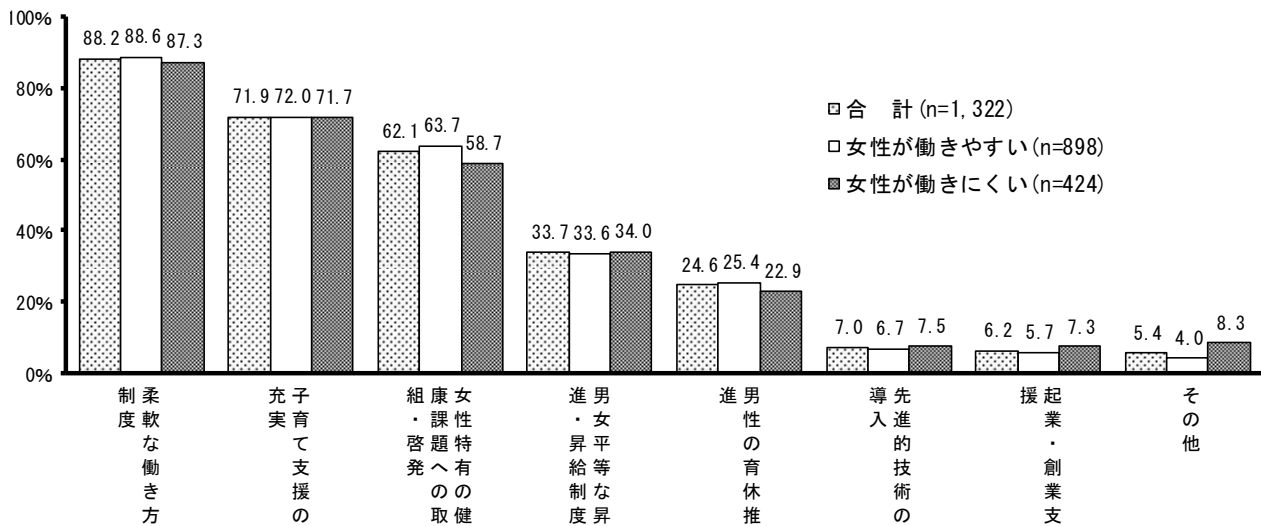
【女性の働きやすさ評価の根拠 女性の働きやすさの評価別】



3) 浜松市で女性が活躍するのに重要な要素

・浜松市で女性が活躍するのに重要な要素は「柔軟な働き方制度」が88.2%と最も高い。次いで「子育て支援の充実」(71.9%)、「女性特有の健康課題への取組・啓発」(62.1%)の順となっている。「女性の働きやすさ」は同様の推移である。

【浜松市で女性が活躍するのに重要な要素 合計・女性の働きやすさの評価別】

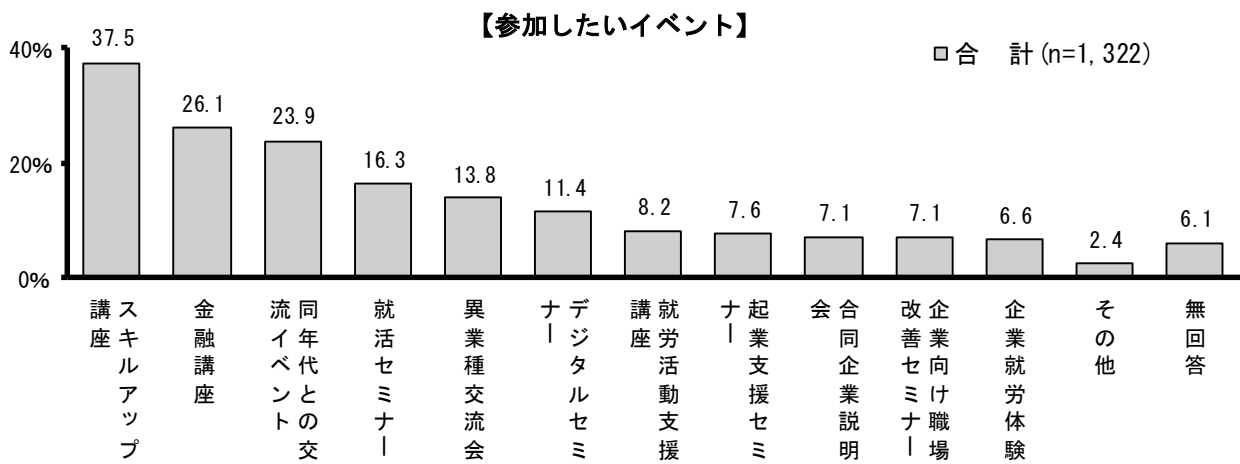


6. イベントについて

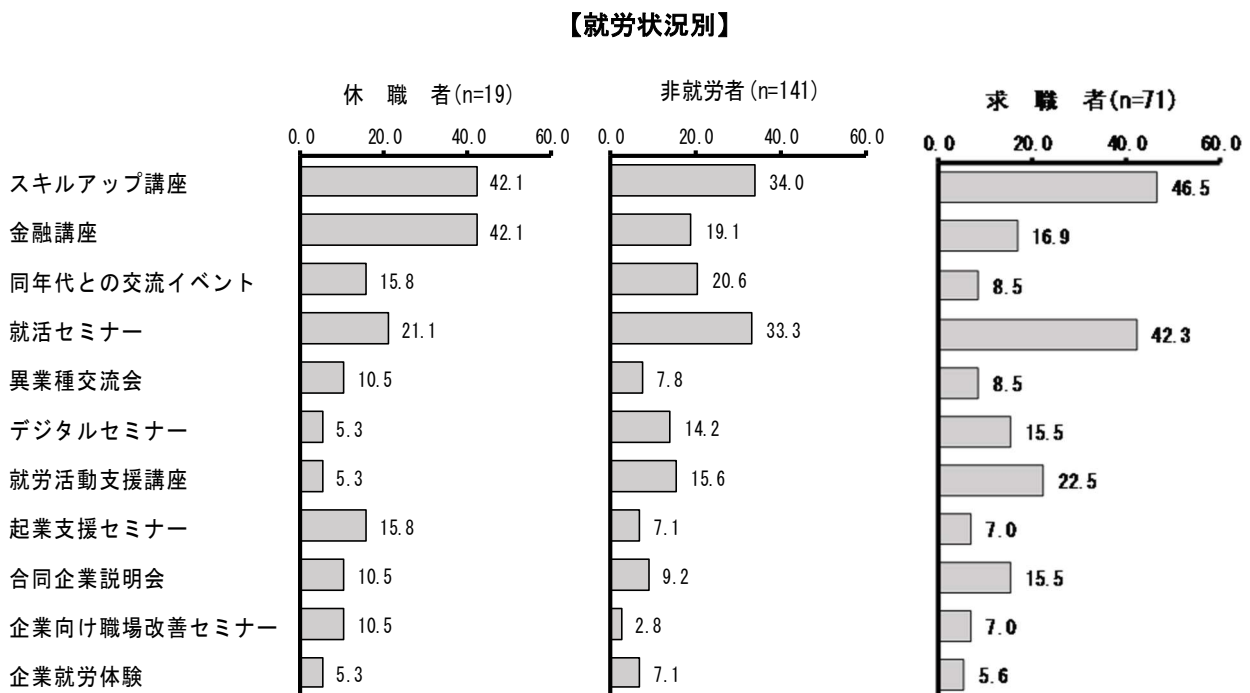
- どの層でも、スキルアップ講座への参加希望が高く、求職者や非就労者では就活セミナーへの参加希望が高くなっている。
- 開催場所としては、「公共施設」への希望が高い。
- 広報媒体としては、Instagram・インターネット・LINEが有効であると考えられる。

1) 参加したいイベント

- ・参加したいイベントは、「スキルアップ講座」が37.5%と最も高い。次いで、「金融講座」(26.1%)、「同年代との交流イベント」(23.9%)の順となっている。

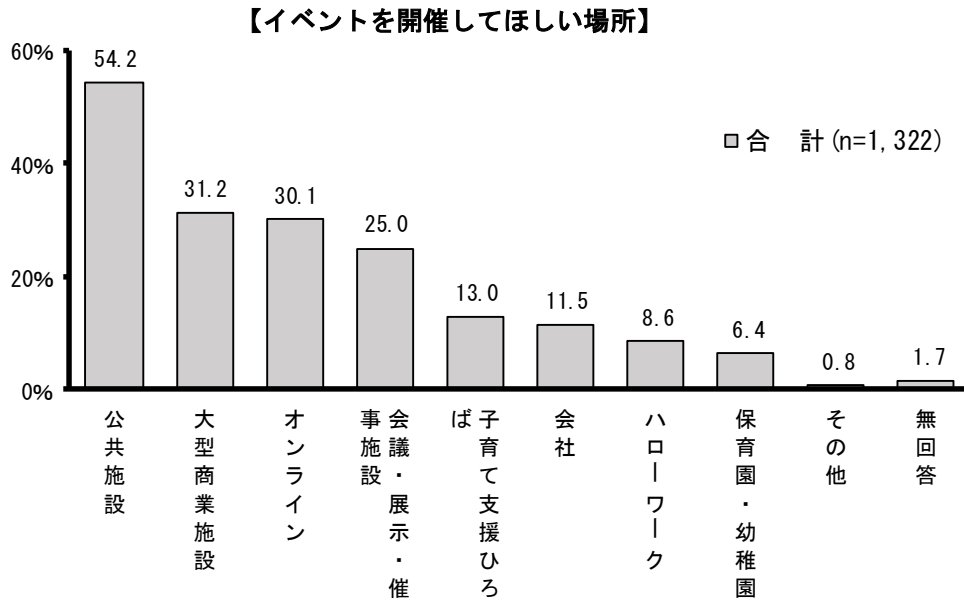


- ・就労状況にみると、「スキルアップ講座」はどの層でも3割を超えており、『求職者』が46.5%と最も高い。『求職者』は「就活セミナー」(42.3%)、「就労活動支援講座」(22.5%)と就活に関連したイベントが高い。『非就労者』は「就活セミナー」(33.3%)が『求職者』に次いで高くなっている。



2) イベントを開催してほしい場所

- 希望するイベント開催場所は、「公共施設」が54.2%と半数を超えて最も高い。次いで、「大型商業施設」(31.2%)と「会議・展示・催事施設」(25.0%)の順となっている。「オンライン」は30%前後であった。



3) イベント情報収集に良く使う媒体

- イベント情報収集に良く使う媒体は、「Instagram」が57.2%で最も高い。次いで、「インターネット」(39.0%)、「LINE」(34.6%)の順となっている。分散した傾向がみられる。

